源泉徴収を実施している事業所は、事故の前年の源泉徴収票を添付してください。 源泉徴収票が用意できない場合は、賃金台帳写し・雇用契約書・所得証明書をご提出ください

損害 証

給与	所得者	(ノペー	ート	・ア	ルノ	ベイ	<u>۱</u>				所に	記入	またに	は該当	箇所	にチ	エツタ	ウ (』	')を	付して	< < :	ださい	,°)									
職役	種							-			J	氏名	1								ŧ	采用	日					年		月		目
	上記の 仕事を	を休ん	だ	(遅	刻									<u>月</u>		日	カュ	ら				<u>年</u>		月	<u> </u>		<u>日</u>	まて	ご の	期間	訂	
2.	欠 類 遅刻 (注)労働 休暇の	基準法場合は、	引の内訳は、 <u>日</u> 年次有給休暇(注 回 (時間) 準法第 39 条に定める使途を限定しない 合は、「年次有給休暇」欄に 0.5 日単位 してください。										年次有給休暇であっ				公要し	こ応	じて自由な時期に取得			でき	できる休暇を示			そします。 半日有給						
3.	上記に	こつい 月 1	てか 2		だ F	ョは 5	下 6							1						お願 19					_	<u> </u>	26	97	28	29	30	31
	年	月 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	年 (注)休 途を限							年	火有:		眼=	⊚、	遅刻	<u> </u> =∠	」、「	退=	= 🗸 、	半	日欠									27 有給(30	31
4. 上記休んだ期間の給与は、 □. 全額支給した。 □全額支給しなかった。 ウ. 一部(□ 支給・□ 減給)した。その額は、 円 内訳																																
5.	家働日 年 月分						支				支	質与は除く。) は下 え給金額 給付加給						<u> </u>			呆隊	录			所得税			差引支給額				
	年	月分	}																													
	年		}																													
6.		所知 給- :険(⁵	官勤: 与計 労災	務 等 保 降	き間 基礎 き、	: 生 [健身]月; ₹保	<u></u> 給、 険等	 で、	<u> </u>	<u>}</u> ~ 合_ 涂務」	 員共	済約	組合	 を を	当され	<u>,</u>	から]時 5傷	病手	- 当	金	• 休	業	補償	円 費	 の糸			務)		
	名	称															電	į	話					()						
事 ※		直前の定や随い	D12 時改第 等 等	かり 定 <u>級</u> 級 こ	月に あり、 とを	お適様を証明	ハさ	れて報報を表する	一適に別別別 まっこう	き 等級	れて なお』	こい	た等	等級 報酬)	お。	よび が複数 円	標り数あ	隼執 る場	酬。 合は 対象	月額	に記載	つV 願V	いています	以 ⁻ -。		.記載 ~)	
<u>所</u>	•	地	1						-								<u>電</u>				舌 <u></u>			()	<u> </u>			<u>-</u>	
	号また <i>[</i> 表 者													(E	ID					者 名 [終分				()				-	